

## Renesas S7G2 用サンプル(e2studio USBX\_HMSC\_Host)の説明

(e2studio Version:7.5.1 / SSP Version 1.7.8)

## 1. Sample の免責について

- **Sample** に関する Tel/Fax でのご質問に関してはお受けできません。ただし、メールでのご質問に関してはお答えするよう努力はしますが、都合によりお答えできない場合もありますので予めご了承ください。
- **Sample** ソフトの不具合が発見された場合の対応義務はありません。また、この関連ソフトの使用方法に関する質問の回答義務もありませんので承知の上ご利用下さい。
- **Sample** ソフトは、無保証で提供されているものであり、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行いません。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わないものとします。

## 2. サンプルのプロジェクト名

ワークスペース名	概要	プロジェクト名
S7G2_e2std_USBX_HMSC_Host	MP-S7G2-01[USB-Host]に USB メモリー挿入して Read/Write するサンプル	USB_HMSC_Host ThreadX モードで動作  USB Mass Storage (g_fx_media)  RTOS(ThreadX)使用例

統合開発環境
Renesas e2studio(Version 7.5.1)
SSP(Version1.7.8)

### 3. Tera Term Pro のインストール

- ①「teraterm-4.80.exe」を検索してダウンロードする。
- ②PCにインストールし実行する
- ③シリアルポートの設定



COM 番号は、  
PC 側でシリアル通信可  
能な番号を指定する。

115200BPS

8bit

none

1bit

none

の仕様にする。

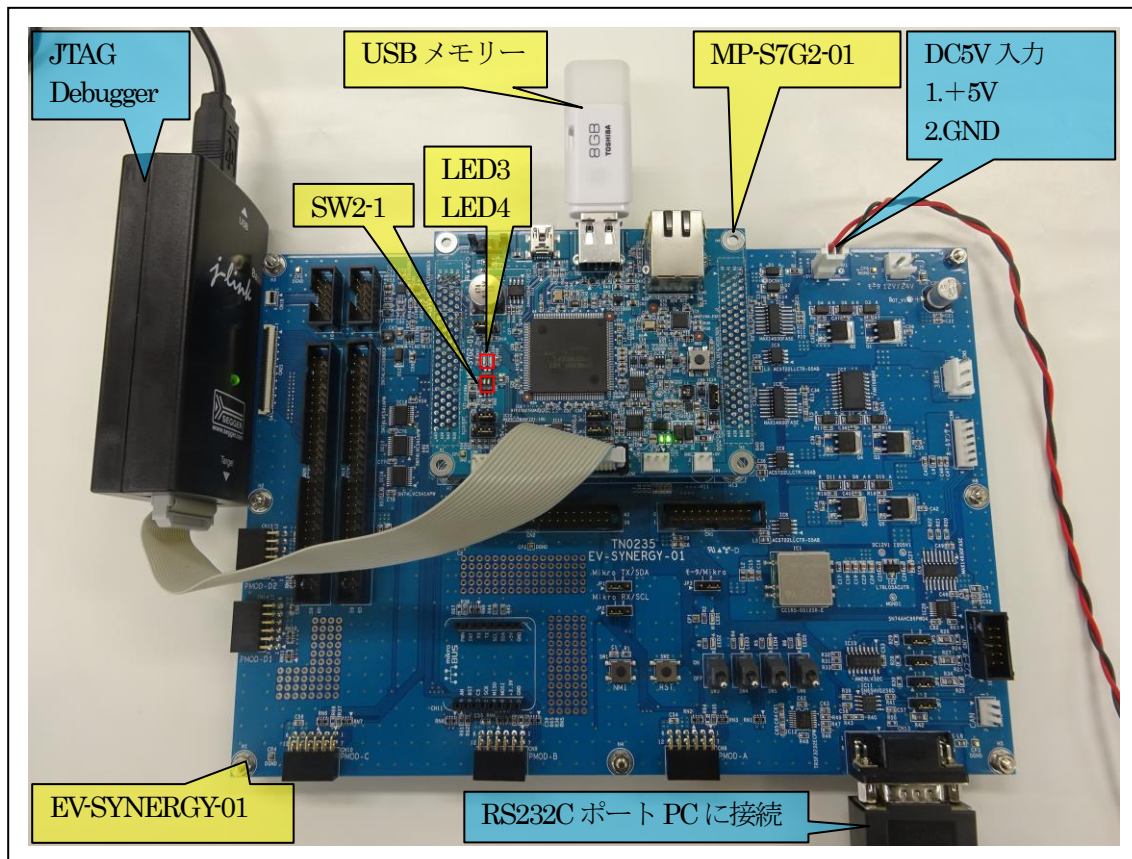
#### ④端末の設定



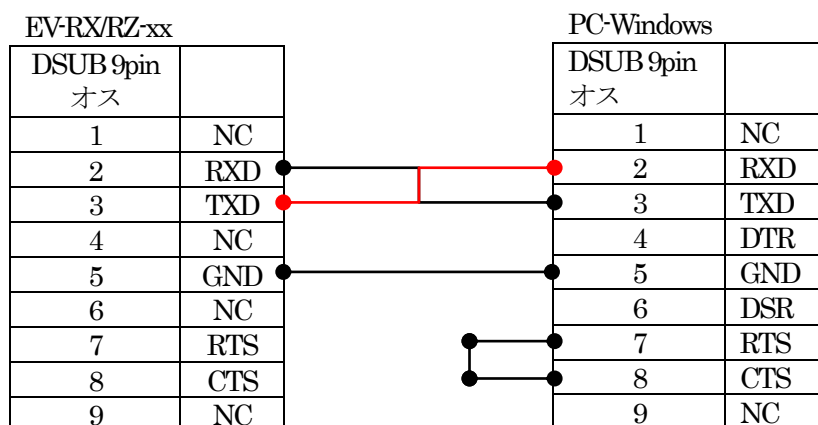
USB シリアルコンバー  
タ使用時に CR コードが  
カットされる設定の場合  
は、受信：LF にして下  
さい。

赤枠の設定にする。

#### 4. 動作構成



- ①PC 機と接続する RS232C ケーブルは、市販「クロスケーブル」でも可能です。
- ②USB-シリアル変換ケーブルを使用される場合は、「StarTech.com 社 ICUSB232FIN」推奨
- ③自作する場合は、下記の配線になります。



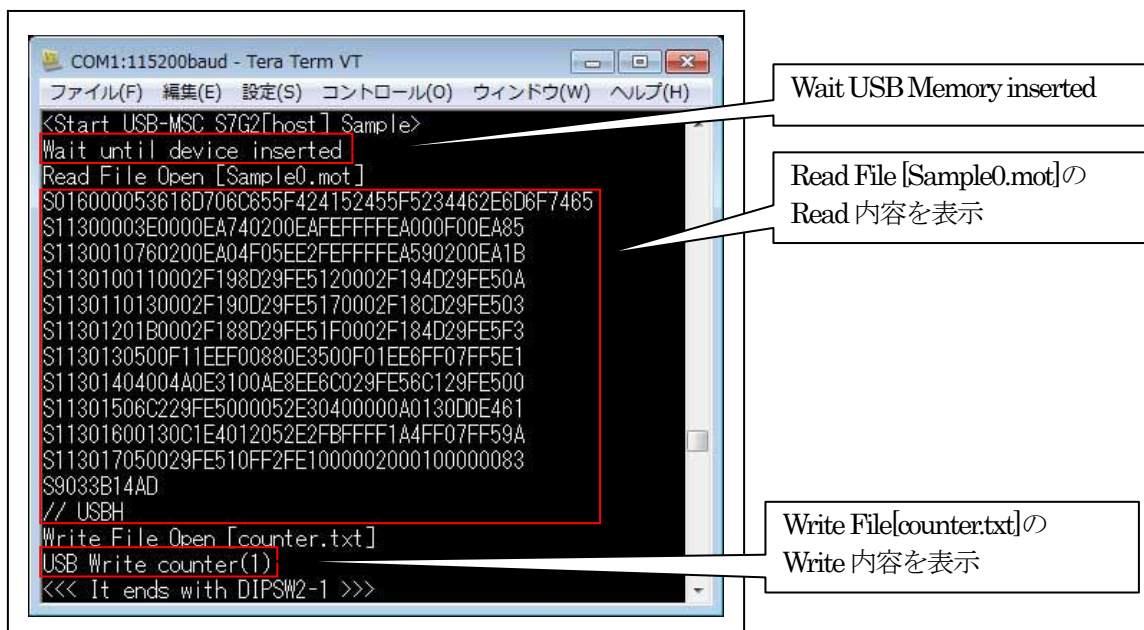
## 5. 「S7G2\_e2std\_USBX」 サンプルの説明

### 5-1. 「USB\_HMSC\_Host」 フォルダ構成とファイル名

S7G2_e2std_USBX\USB_HMSC_Host		
Debug	USB_HMSC_Host.elf	ELF ファイル、JTAG で使用
	USB_HMSC_Host.map	MAP ファイル、アドレス情報管理
	USB_HMSC_Host.srec	モトローラーHEX ファイル
	その他	自動生成ファイル
Script	S7G2.ld	ロケーション定義ファイル
Src	blink_thread_entry.c	led blink thread サンプルファイル
	usb_thread_entry.c	usb thread サンプルファイル
MP-S7G2-01 (リンク指定)	dipsw.c	MP 基板上 DIP-SW 処理モジュール
	dipsw.h	dipsw.c 用ヘッダーファイル
	led_blink.c	LED 処理モジュール
	led_brink.h	led_brink.c 用ヘッダーファイル
	sci2.c	シリアル通信処理モジュール
	sci2.h	sci2.c 用ヘッダーファイル
	stchar.c	文字系処理モジュール
	stcahr.h	stchar.c 用ヘッダーファイル
	synergy_gen	Generate を行うと作成されるファイル
	Synergy	Generate を行うと作成されるファイル
synergy_cfg		
Configuration.xml		プロジェクト Generation ファイル
PIN-MP-S7G2-01.pincfg		PIN configuration 用ファイル
USB_HMSC_Host_Debug.jlink		Jlink デバッガー用ファイル
その他		自動生成ファイル

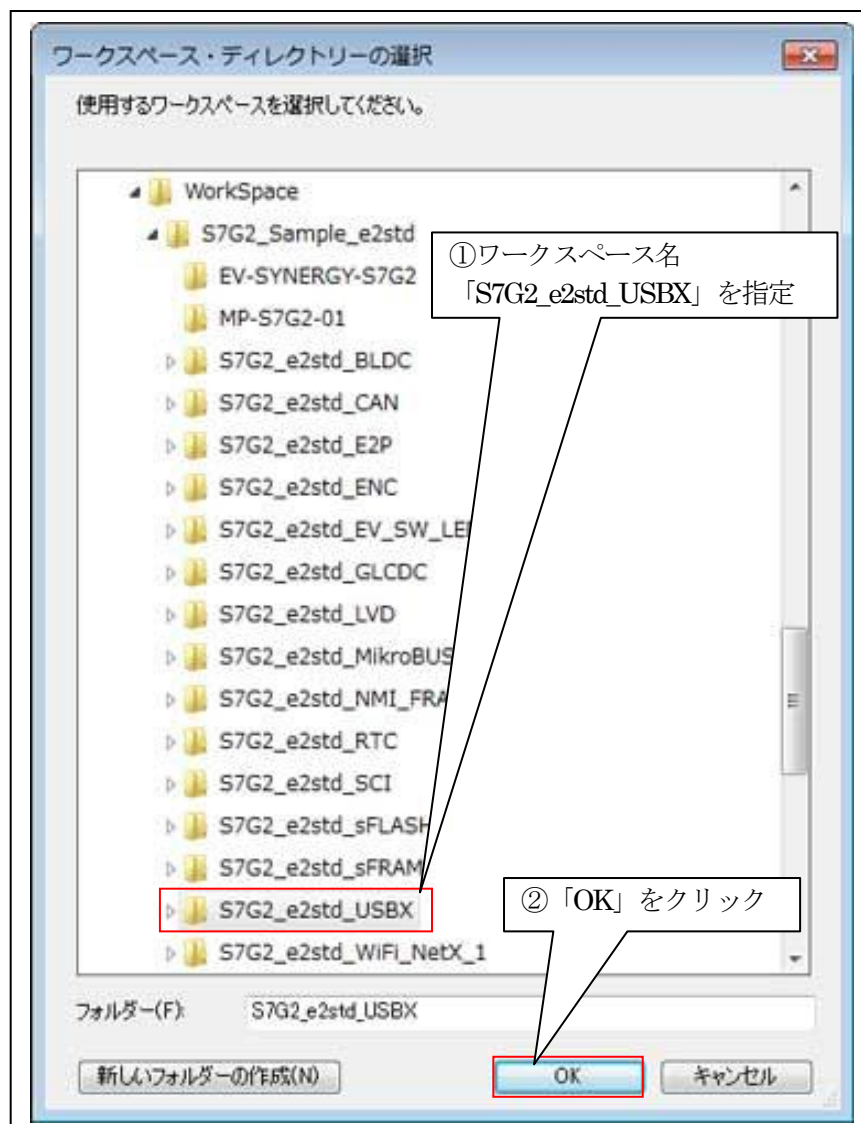
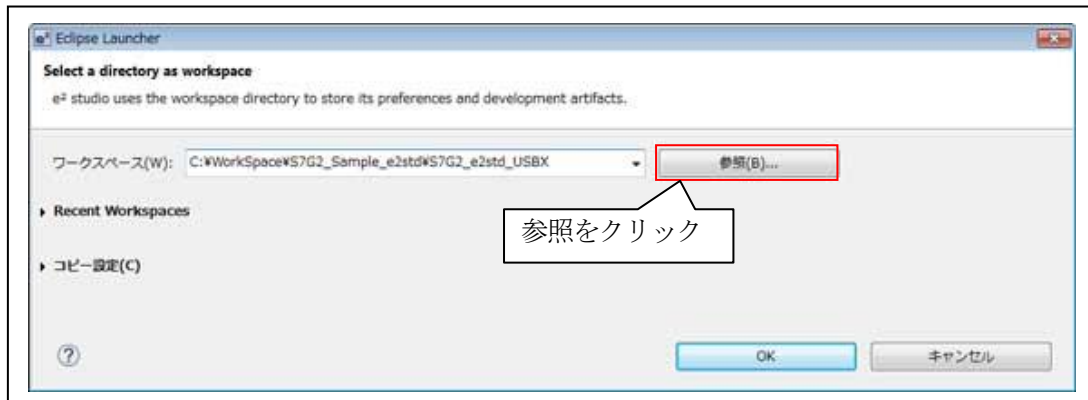
## 5-2. サンプルの動作説明

- ① USB Memory が挿入されるのを待つ。  
Term 画面「"Wait until device inserted"」と表示する。
- ② USB Memory が挿入された場合、callback 処理「usb\_host\_plug\_event\_notification()」でイベントフラグを発行する。
- ③ イベント受付にて、MP 基板上の LED3 を 200msec 毎に点滅させ、USB メモリーの Volume 値を取得する。  
Volume 取得エラー時は、Term 画面に「"Media Volume Get Error"」と表示して終了。
- ④ 固定テーブル定義のファイル名「char \*rd\_name="{ Sample0.mot}"」を Read Open する。  
Open 成功時は、Term 画面に「" Read File Open [%s]",rd\_name」を表示する。  
Open エラー時は、Term 画面に「" Read File Open Error [%s]",rd\_name」を表示して終了。
- ⑤ Read Open ファイルを EOF まで Read して内容を Term 画面に表示する。
- ⑥ 固定テーブル定義のファイル名「char \*wr\_name="{ counter.txt}"」を Write Open する。  
Open 成功時は、Term 画面に「" Write File Open [%s]" ,wr\_name」を表示する。  
Open エラー時は、Term 画面に「" Write File Create Error [%s]" ,wr\_name」を表示して終了。
- ⑦ Write Open ファイルの最終行まで Seek する。  
Seek エラー時は、Term 画面に「" Write File Seek Error [%s]",wr\_name」を表示して終了。
- ⑧ Write Open ファイルに「" USB Write counter(%d)",++wr\_cnt」のパターンを Write する。  
Write エラー時は、Term 画面に「" Write File Write Error [%s]",wr\_name」を表示して終了。
- ⑨ Term 画面に「" <<< It ends with DIPSW2-1 >>>"」を表示して、SW2-1 の状態を調査する。  
[OFF]の場合、④の処理へ継続させ Read/Write を繰り返す。  
[ON]の場合、⑩へ
- ⑩ 終了処理を実施して、USB メモリーの removal を待つ。  
Term 画面に「"Wait until device removal"」と表示する。  
USB メモリーの removal を知らせるため、MP 基板上の LED4 を 200msec 毎に点滅。
- ⑪ USB メモリーの removal の確認後、①の処理へ継続させる。
- ⑫ Term 画面の表示内容



## 6. 「S7G2\_e2std\_USBX」をインポートする。

### 6-1. ワークスペース名の指定



### 6-2. プロジェクトのインポート

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の2項を参照して下さい。



## 7. デバッグ操作

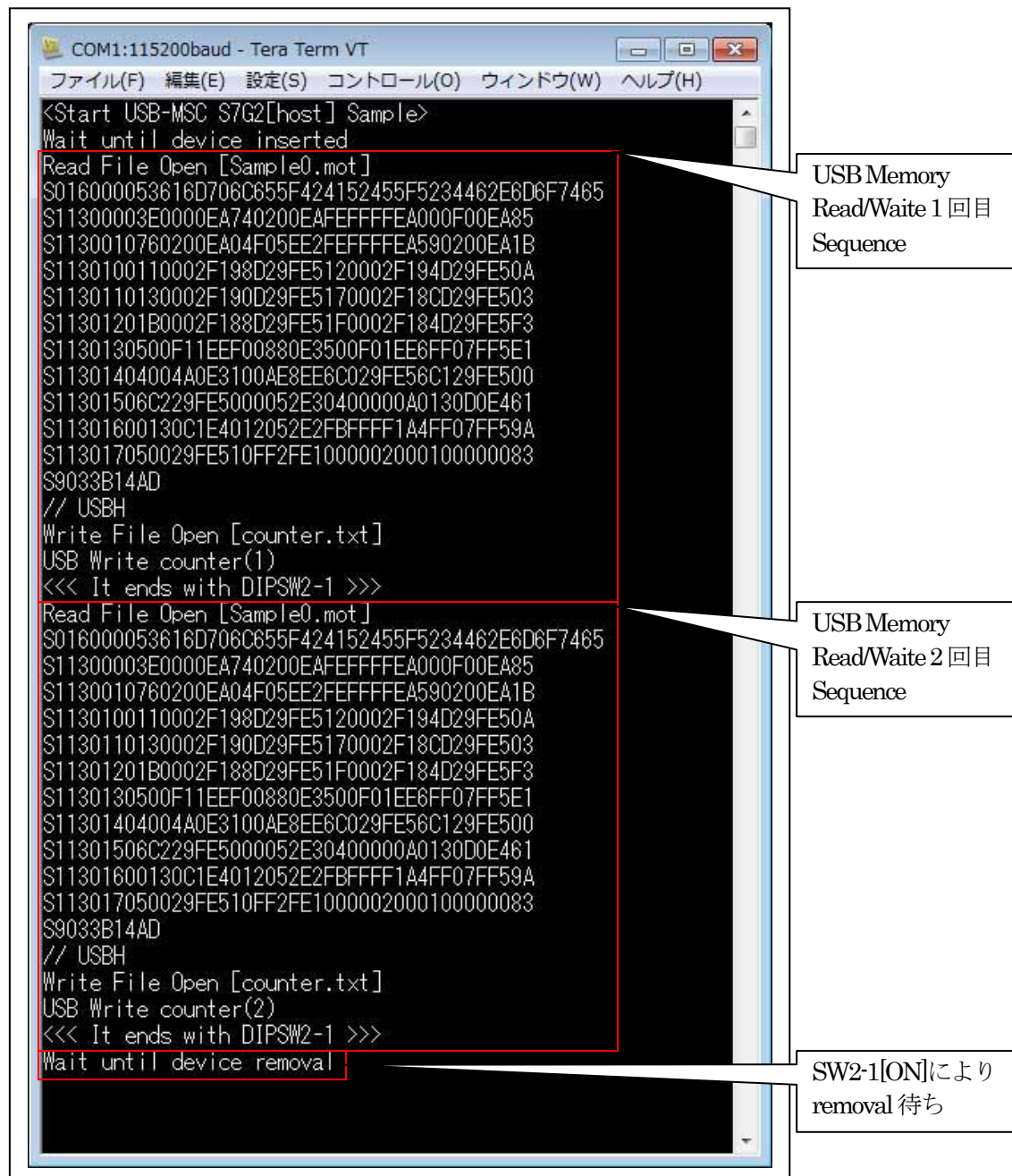
### 7-1. デバッグ構成の設定

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-1項を参照して下さい。

### 7-2. デバッグの開始

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-2項を参照して下さい。

<USB\_HMSC\_Host 実行画面>



### 7-3. デバッグの終了

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-3項を参照して下さい。

## 8. 注意事項

- ・本文書の著作権は、エーワン（株）が保有します。
- ・本文書を無断での転載は一切禁止します。
- ・本文書に記載されている内容についての質問やサポートはお受けすることが出来ません。
- ・本文章に関して、ルネサス エレクトロニクス社への問い合わせは御遠慮願います。
- ・本文書の内容に従い、使用した結果、損害が発生しても、弊社では一切の責任を負わないものとしします。
- ・本文書の内容に関して、万全を期して作成しましたが、ご不審な点、誤りなどの点がありましたら弊社までご連絡くだされば幸いです。
- ・本文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

## 9. 商標

- ・e2studio は、ルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、または商品名称です。
- ・Renesas Synergy<sup>TM</sup>および S3A7/S5D9/S7G2 は、ルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、または商品名です。
- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 10. 参考文献

- ・「S3A7 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「S5D9 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「S7G2 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・ルネサス エレクトロニクス株式会社提供のサンプル集
- ・「e2studio ユーザーズマニュアル 入門ガイド」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「SSP vx.x.x User's Manual」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・「X-Ware Component Documents for Renesas Synergy<sup>TM</sup>」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ・その他

〒486-0852  
愛知県春日井市下市場町 6-9-20  
エーワン株式会社  
<http://www.robin-w.com>